



ビーだま・ビーすけ！あそび

1月24日(金)
たんぽぽ組



昨日のカプラ・積み木遊びで、ピタゴラススイッチの「ビーだま・ビーすけ」の道作りを楽しんでいたTくん。家で「ビータも作ればいいんじゃない？ティッシュ丸めて～」と自分で考えて作ったボールを「先生に見せる！」と持ってきました。



ビータだよ！



ビー玉より少し大きめのボールです！「また道作って転がしてみよう！」と保育者が言うと張り切っていました。

早速カプラ遊びスタート！子どもたちが作る道は平面なので、転がそうとしても転がりません。傾斜をつける事が難しそうだったので、まずは保育者が坂道を作ってみました。すると、「せんせい、すご～い！」とボールを転がし始めました。コロコロと転がっていくことが面白く、何度も転がして遊ぶTくん。その姿を見て「私もボール欲しい」と次々に遊びに入っていく子どもたち。



いっぱい転がった～！

下まで転がった！



こうしたらいっぱい転がるかな…

保育者の作った坂道をマネして、色々な道づくりを自分なりに考えて作っていました。カプラだけでなく、積み木も使い、道幅の広い坂道を作る子もいましたよ！



途中で止まっちゃう…



こうしたらみんな一緒に遊べるよ♪

カプラのつなぎ目が段差になってしまい、うまく下まで転がらず「これ途中で止まっちゃう～」とMちゃん。どうやったらスムーズに転がるか…。保育者も一緒に考え、段差の高低差を変えてみたり、長くして勢いをつけてみたり等、試行錯誤しながら色々な方法で道を作って遊びました。

「こうやって、いっぱい坂作って並べたら、みんな一緒に遊べるよ！」とミニの坂道を3つ並べて作ったKちゃん。順番を待たずに、みんなで遊べる方法を考えていた優しい気持ちにほっこりしました。

カプラ・積み木遊びでは、自分のイメージしたものを自由に組み合わせて作ることで想像力が養われたり、じっくりと遊び込む力が育ったりします。また、友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の思いや考えを伝え合うことも自然に見られます。この経験を重ねて、協力することの楽しさや面白さを実感出来たらなと思います。